

予定	「かよえる かえる つくば つくば市移住フェア」の開催について
要旨	<p>1 趣旨 首都圏の若年世代の移住促進を目的に、住まい・子育て・教育・仕事を中心とした情報を提供するため、大学や民間事業者と協働で相談会を実施する。なお、都内において、市単独主催で移住イベントを開催するのは初めての試みである。</p> <p>2 日時 平成28年6月1日(水)～3日(金)(3日間) 各日12:00～19:00</p> <p>3 場所 総務省移住・交流情報ガーデン(東京都中央区京橋 東京駅徒歩3分) 平成27年3月にオープン。総務省主管で、移住に関する全国の取り組みを情報発信する場。各自治体のパンフレットが置かれ、移住アドバイザーが移住相談に応じている。</p> <p>4 内容(予定) ※最新情報は、移住交流情報ガーデンHP・facebook、市HPで公開する。 (1) 相談ブース設置, パネル展示, パンフレット設置 【住まい情報】 賃貸物件や地価等の具体的な不動産情報 (土浦・つくば宅建協会加入の不動産業者, 住宅メーカー, つくばスタイル協議会) 【子育て情報】【教育情報】 サークル, 保育, 教育環境等具体的な情報 (保育所, 幼稚園, 小学校, 中学校, 高校, 筑波大学, 筑波学院大学, 筑波技術大学, つくばインターナショナルスクール) 【仕事情報】 就職環境や求人情報等 (筑波大学発ベンチャー企業, つくば市に本社のあるベンチャー企業) 【生活情報】 ・医療機関(総合病院, クリニック, つくば市バースセンター 他) ・金融機関(常陽銀行, 筑波銀行) ・地域情報誌(つくまる, 常陽リビング) ・その他(農業体験情報等)</p> <p>(2) 物産の試食, 展示販売 つくば市商工会及びつくば市物産会加盟店(調整中)</p> <p>(3) トークイベント(各日 17:30～18:10) 1日目(6/1)市原市長とモーハウス光畑代表対談 2日目(6/2)博報堂「移住定住に関するあらたな視点と取組」 3日目(6/3)AERA編集部「働きながら子育てしやすいまち つくば」</p> <p>(4) 抽選会, アンケート</p> <p>5 ターゲット 東京駅周辺の20～30才代のビジネスパーソン</p> <p>6 協力 筑波大学, 市内事業者, 地域情報誌制作会社, つくばスタイル協議会他</p>

予定	「春のエコ通勤・エコドライブウィーク」の実施について
要旨	<p>1 趣旨 環境モデル都市・つくばでは、つくば環境スタイル“SMILe”の一環として、地球温暖化防止対策を推進している。暮らしにおいては、特に自動車から排出される温室効果ガスの割合が高いことから、車に乗る一人一人が環境への意識を持って、マイカー通勤から公共交通機関や自転車等によるエコ通勤へシフトしていくことが重要であり、より多くの方に参加していただき、温室効果ガス削減に結びつけるために実施する。</p> <p>2 期間 平成28年5月25日（水）～6月8日（水） 15日間</p> <p>3 対象者 市民又は市内に通勤をしている方</p> <p>4 参加方法 参加者は、通勤手段をマイカーから公共交通機関・自転車等に替える「エコ通勤」、又は車に乗る場合に急発進や急加速などを控える「エコドライブ」を実施する。期間終了後、チラシ下段のアンケート用紙に実施内容を記入の上、平成28年6月15日（水）までにE-mail、FAX、郵送、又はスマートシティ推進課窓口に提出をする。</p> <p>5 周知方法 市ホームページ、Facebook、Twitter、横断幕、チラシ配布、市内研究機関等への実施依頼、つくば環境スタイルサポーターズ会員への周知 ※サポーターズ会員 個人 約8,000人、事業所 268事業所</p> <p>6 過去の実績 平成27年度春（平成27年5月18日～29日 12日間）652名 5,954kg-CO₂ 平成27年度秋（平成27年10月19日～30日 12日間）865名 14,634kg-CO₂</p> <p>7 その他 サポーターズ会員の参加者には、サポーターズポイント200ポイントを付与する。また、現在、サポーターズ会員30名の方に御協力いただき、エコドライブ検証モニターとして、実際にどの程度燃費が向上し、温室効果ガス排出量が削減できるかの実証実験を実施中である。</p>

予定	「平成28年度関東高等学校自転車競技大会」の開催について
要旨	<p>1 要旨 つくば市は平成31年9月末（正式な会期決定は本年7月頃の予定）に開催予定である「いきいき茨城ゆめ国体」の自転車競技開催地市町村として選定されており、本大会前に関東規模の大会を開催するものである。なお、一般道で行われる7年ぶりの大会であり、当市での開催は初となる。 また、大会にあわせて、つくばウェルネスパーク（つくば市山木1565番地）に国体PRブースを設け、開催競技団体による競技体験・実演などのイベントを実施する。</p> <p>2 日時 平成28年6月12日（日） ※雨天決行 競技 9:00～12:00（国体PRイベントは午後も開催） 表彰・閉会式 13:00～13:30 ※交通規制 8:00～12:00</p> <p>3 会場 (1) 競技 ① スタート・ゴール地点 つくばウェルネスパーク ② コース つくばウェルネスパーク周辺の公道特設コース (2) イベント つくばウェルネスパーク駐車場</p> <p>4 参加選手 男子 150名程度、女子 20名程度</p> <p>5 内容 (1) 競技 男子 8周、女子 4周（1周10.6Km） (2) イベント（雨天の場合は一部中止の可能性あり） ① 自転車、アーチェリー、パワーリフティングの体験コーナー ② 茨城国体マスコット「いばラッキー」とのふれあいコーナー</p> <p>6 主催 関東高等学校体育連盟 茨城県教育委員会 7 共催 つくば市 8 その他 コースの安全管理、迂回路誘導等のためボランティアを募集しているほか、交通規制の周知及び沿道での応援を呼び掛けている。</p>

<p>予定</p>	<p>G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催記念 「つくばフェスティバル2016」の開催について</p>
<p>要旨</p>	<p>1 趣旨 つくばの特色である「科学と国際交流」をテーマに、科学技術に関する体験型イベントを実施するとともに、世界各国の文化に触れることのできる国際交流の場を設けることで、未来の担い手である子ども達を始め、すべての来場者につくばの魅力を体感してもらう。</p> <p>2 日時 平成28年6月4日（土）12:00～18:00 平成28年6月5日（日）10:00～17:00</p> <p>3 場所及び主なイベント内容</p> <p>(1) つくばセンター広場（Aエリア メイン会場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 世界各国の料理・物産の販売 約25ブース ② 各種団体等による演奏や舞踏の披露 約20団体 <p>(2) つくばイノベーションプラザ 3階大会議室（Bエリア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① さわろう植物展ミニ ※新規イベント ② 各種実験・工作など <p>(3) 大清水公園（Cエリア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 科学にチャレンジコーナー 市内15学園，県立並木中等教育学校，茗溪学園，在日ブラジル人学校の生徒による科学工作教室など ② モバイルフォレストアドベンチャー ゆれる丸太や一本橋など8つのアクティビティ体験 ③ 消防コーナー（煙体験・水消火器体験コーナーなど） ④ ロボットゆうえんち（ロボットバトル体験操縦など）※新規イベント <p>(4) つくばカピオ 3階，4階会議室（Dエリア） 分度器と自分の体を使って高さを測ろう ※新規イベント</p> <p>4 来場予定者数 14万人（昨年度実績 約14万人）</p> <p>5 主催 つくばフェスティバル実行委員会，つくば市</p> <p>6 共催 一般財団法人つくば市国際交流協会</p>

予定	つくば市トライアル発注認定制度 認定事業者の募集について
要旨	<p>1 趣旨 市内ベンチャー・中小企業の販路開拓を支援するため昨年度に開始したつくば市トライアル発注認定制度に基づき、平成28年度の認定事業者を募集するものである。</p> <p>本制度では、市内企業の優れた新商品及び新サービスを市が認定しPRを行うほか、市が認定商品の一部を試験的に購入し、評価することにより、製品の改良及び企業の技術力向上につなげるものである。</p> <p>2 対象となる事業者・商品等 (1) 市内に本社又は主たる事業所を有する中小企業 (2) 発売開始から5年以内の新製品・新サービスで、市内で開発、製造または販売されていて、当市での使いみちが見込まれるもの</p> <p>3 募集期間 平成28年5月9日(月)～6月30日(木)</p> <p>4 周知方法 市広報紙、市ホームページ、チラシ配布</p> <p>5 その他 (1) 昨年度実績 12事業者の製品・サービスを認定し、市役所で製品展示会を開催するとともに、都内で開催された大規模産業展示会への出展支援を実施した。さらに、4つの製品は学校をはじめとする市の機関で活用している。</p> <p>(2) 今後の予定 導入した製品について評価を行い、事業者にフィードバックをすることで、製品の改良につなげるとともに、引き続き認定製品の積極的なPRを実施し、販路拡大に努める。</p>

予定	「農地再生チャレンジ事業」ジャガイモ収穫祭の開催について
要旨	<p>1 趣旨 「農地再生チャレンジ事業」は、農業委員が中心となり、JA等関係機関と連携して、市内の耕作放棄地の解消、再生及び有効利用を図るものである。また、市民が、再生した農地でジャガイモの収穫祭に参加することにより、農業の楽しさを実感するとともに、農地の大切さを考えるきっかけとなる。</p> <p>2 日時 平成28年6月25日（土） 午前の部 9:00～11:30 午後の部 12:30～15:00 ※荒天の場合は延期（予備日6月26日（日）、7月2日（土））</p> <p>3 場所 筑波地区作谷地内（テクノパーク大穂西側の約70aの畑）</p> <p>4 内容 (1) ジャガイモの収穫体験（1家族当たりの区画は10㎡程度） (2) 農産物直売会 (3) ジャガバター及びかき氷の無料サービス</p> <p>5 参加予定者 市内外の300家族（参加費無料、事前登録）</p> <p>6 周知方法 市広報紙、市ホームページ、 チラシ配布（開催地から半径約3km以内の保育所、幼稚園、小学校）</p> <p>7 主催 つくば市、つくば市農業委員会</p> <p>8 協力 JAつくば市、JAつくば市谷田部、つくば地域農業改良普及センター</p> <p>9 実績 (1) 昨年度のジャガイモ収穫祭参加者 約1,200人 (2) これまでの農地再生面積 H27筑波地区（約80aの畑）、H26桜地区（約80aの畑）、H25谷田部地区（約50aの畑）、H24荃崎地区（約1haの畑）</p>

報告	「第55次南極地域観測隊隊員による出前授業」平成27年度実績報告について
要旨	<p>1 趣旨 第55次南極地域観測隊隊員である本市職員が、南極昭和基地での勤務経験をいかし、南極観測の必要性や重要性、日本の高度な科学技術のすばらしさや地球の環境変動等について、体験談等を交えた出前授業を行った。</p> <p>2 内容 (1) 昭和基地における活動（観測支援、庶務全般、情報発信等）の説明 (2) 自然環境、生態系に関するレクチャー (3) 南極の氷等に触れる体験プログラムの実施</p> <p>3 実施体制 (1) 講師 塚本 健二（市長公室ひと・まち連携課 主査） (2) 事業所管 科学技術振興部 科学技術・特区推進課（平成27年度） ※平成28年度からは科学技術総合調整室に移管 (3) 連携部署 ひと・まち連携課、広報広聴課、シティプロモーション室、教育指導課、文化振興課</p> <p>4 平成27年度実績（概要） (1) 実施回数 38回 (2) 受講者数 約4,400名（市内小・中学生 約2,000名、出前講座等市民向け講座受講者 約150名、その他市外講演会聴講者 約2,250名） (3) 市内小・中学校での実施率 小学校 37校中20校で実施（54.1%） 中学校 15校中3校で実施（20%）</p> <p>5 平成28年度計画 市内の小・中学校で未実施の学校での実施を最優先としつつ、市民が主催する学習会等、生涯学習活動への協力も引き続き実施していく。</p>

報告	期日前投票所の新設と新たな投票区の設置について
要旨	<p>1 趣旨</p> <p>選挙人の利便性と投票率の向上を図るため、通勤、通学、買い物客等にぎわうつくばセンター地区に、期日前投票所を新設する。あわせて、公職選挙法の改正により、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引下げられることに伴い、筑波大学構内にも期日前投票所を新設する。</p> <p>また、TX沿線開発に伴い、みどりの駅地区の住所の表示変更が行われることに合わせて、谷田部第1投票区、谷田部第2投票区及び真瀬第1投票区のうち、みどりの駅地区に該当する地区を分割・集約し、新たな投票区として「みどりの投票区」を設置する。</p> <p>2 新たに設置する期日前投票所及び投票区</p> <p>(1) 期日前投票所</p> <p>①つくばセンター地区 「Biviつくば」2階 つくば総合インフォメーションセンター</p> <p>②筑波大学 大学構内（場所は現在調整中）</p> <p>(2) 投票区</p> <p>みどりの投票区（新設）</p> <ul style="list-style-type: none">・投票所 上萱丸公会堂・所在地 つくば市上萱丸189番地・対象地区 みどりの1丁目、みどりの2丁目、みどりの中央、上萱丸、下萱丸、花島新田 <p>※みどりの駅地区のうち、みどりの東、みどりの南の投票区は、谷田部第2投票区（投票所：飯田中野生活改善センター）となる。</p> <p>3 今後の予定</p> <p>(1) 平成28年6月19日 改正公職選挙法 施行</p> <p>(2) 平成28年7月 第24回参議院議員通常選挙</p>

<p>報告</p>	<p>～つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「結婚し、子どもを産み・育て、健康に生活できる環境をつくる」の実現を目指して～ 子連れ勤務の実施状況について</p>
<p>要旨</p>	<p>1 趣旨</p> <p>つくば市では、つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「結婚し、子どもを産み・育て、健康に生活できる環境をつくる」の実現を目指し、「健幸長寿日本一をつくばから」事業を推進している。本事業の3つのポイントのひとつである「働く場所の提供」の一環で、女性の活躍の場の提供と復職支援を目的に、専門の臨時職員により、子どもを連れて出勤し仕事をする「子連れ勤務」を平成27年度から実施している。</p> <p>※「健幸長寿日本一をつくばから」事業の3つのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 働く場所を提供します (2) 年齢制限をなくした健康づくり (3) 市民・企業連携します <p>2 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成27年度 専門職37名のうち、子連れ勤務者12名 (2) 平成28年度 専門職33名のうち、子連れ勤務者8名 <ul style="list-style-type: none"> ・子連れ勤務者の職種は、看護師・管理栄養士・歯科衛生士・保育士等の専門職で、多世代交流出前教室の運営、健康チェック、健康講話等を担当している。 ・子連れ勤務の実施に当たり、子連れ勤務者を含め管理職及び同僚職員へ共通認識を持つための事前研修を実施した。また、開始後も、実際の現場での指導等を実施している。研修・指導や、授乳服の提供等、有限会社モーハウスのノウハウを活用して実施している。

報告	ブリュッセル対日投資セミナーへの参加等に係る結果報告について
要旨	<p>1 趣旨 ベルギー・ブリュッセルで開催された「対日投資セミナー」への参加等に係る結果報告を行う。</p> <p>2 主な行程 (5月2日～6日) (1) ブリュッセル対日投資セミナーへの参加 (市長講演及びつくば市PRブースの設置) (2) ゲント大学^{※1}やフランダース政府貿易投資局との意見交換 (3) 欧州連合 (EU) 幹部^{※2}との会談 (4) JETROブリュッセル事務所との意見交換 ※1 ゲント大学は、ベルギー・東フランドル州のゲントに本部を置く大学で、多くの技術移転ベンチャーを輩出した実績を有する。 ※2 G7茨城・つくば科学技術大臣会合に参加予定のカルロス・モエダス欧州委員 (研究・科学・イノベーション) (=閣僚相当) の副官房長</p> <p>3 報告内容 上記の行程の結果詳細は別添のとおり。</p>